

## 地域農業の未来を考える交付金事業

### 1 目的

本町農業について、5地域（北野・鷹栖・中央・北斗・北成）ごとに意見交換等を定期的に行うことで、将来考えられる地域農業の課題等の解決に向けた「調査・研究・研修・試験・実践等」を、農林水産省の取り組みや本町農業ビジョン等と連動させながら、地域又は農業者主体で進めていくことを目的とする。

### 2 経緯

平成31年1月から令和2年8月に「10～15年後の地域農業を考える会」を5地域及び大規模農業法人と複数回に渡り開催する中で、今後の各地域又は個人農業経営等について聞き取り・意見交換等を重ねてきた。その内容を集約した結果、全町、複数地域の共通課題又は各地域の特徴的な課題等が整理された内容を基に、今後はその課題等を解決するための取り組みを具体化し実践していく段階に来ている。

<各地域から出た主な意見>

- |  |     |
|--|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の広い範囲で集約を進めていくためにも、大規模な基盤整備事業が必要</li><li>・近い将来、農業パート（家族含む）の高齢化に伴う労働力不足が心配</li><li>・面積を大きくしたくても機械・施設の更新費用が大きな負担となる</li><li>・地域内の水田は、地元の農業者で引き受けていきたい</li></ul> | …など |
|--|-----|

### 3 実施主体・支援チーム

- ①実施主体 ; (仮称) 地域農業の未来を考える会  
※事業内容に応じ、各種農業団体等と連携して進めていく
- ②支援チーム ; J A、土地改良区、農業委員会、町

### 4 令和3年度の事業内容

(1) 農地集約を進めるための基盤整備等の検討

対象地区	中央、北斗、鷹栖一部の地区 (21区、有明、第23区、共栄、25区)
取組内容	耕作者・所有者へのニーズ調査、農地・作物別ゾーニング、集約計画の作成など

(2) 労働力の確保対策

対象地区	全町
取組内容	人材確保を図るための具体的な取組、または既存事業の見直し等 スマート農業を取入れた省力化を図るためのニーズ調査等

### 5 予算

05 農林費－01 農業費－04 農村振興対策費－農村活性化対策事業－補助金 300 千円